

一一七四番

あられ降りふ 鹿島かしまの崎さきを 波高なみたかみ 過ぎすてや行ゆか  
む 恋こひしきものを

一一七五番

足柄あしがらの 箱根はこね飛び越こえ 行くゆ鶴たづの ともしき見みれ  
ば 大和やまとし思おもほゆ

一一七六番

夏麻なつそび引く 海上うなかみ潟がたの 沖おきつ渚すに 鳥とりはすだけど  
君きみは音おともせず

一一七七番

若狭わかさなる 三方みかたの海うみの 浜清はまきよみ い行ゆき反かへらひ  
見みれど飽あかぬかも